

## 神奈川県内広域水道企業団 —令和5年度予算(案)の概要について—

### 1 令和5年度予算(案)について

令和5年度は、現行実施計画(令和3～7年度)の中間年度であり、かながわ広域水道ビジョンに掲げる最適な水道システムの実現等に向けて、各事業を着実に実施してまいります。

- 「最適な水道システムの実現に向けた施設整備と運用・管理の取組み」として、5事業者共通の施設整備計画の策定、上流水利権の有効活用、既存施設の計画的な修繕・更新等を進めます。
- 「自然災害や多様なリスクへの対応強化の取組み」として、主要施設の地震対策、浸水対策、停電対策等を進めます。
- 「経営基盤の強化の取組み」として、長期的視点に立った財政運営、今後の事業展開を見据えた人材育成、業務の効率化のためのDX推進等の取組みを進めます。

### 2 令和5年度の予算規模について

令和5年度の予算規模は、対前年度比29億3,459万余円増(4.6%増)の660億7,004万余円となっています。

予算規模

(単位:千円、%)

区 分		令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算(案)	対前年度	
				増減額	増減率
支 出	収益的支出	40,651,173	43,684,348	3,033,175	7.5
	資本的支出	22,484,279	22,385,697	△98,582	△0.4
	計	63,135,452	66,070,045	2,934,593	4.6
財 源 内 訳	料金収入	42,522,863	43,090,593	567,730	1.3
	企 業 債	2,592,000	2,848,000	256,000	9.9
	補 助 金	184,149	264,854	80,705	43.8
	自己資金	17,836,440	19,866,598	2,030,158	11.4
	計	63,135,452	66,070,045	2,934,593	4.6

### 3 令和5年度予算(案)の特徴

令和5年度予算では、供給水量及び料金収入は増加するものの、動力費等の生産コストが増加し、損益は対前年度比26億円減の23億円を見込んでいます。また、累積資金残高は対前年度比43億円減の54億円を見込んでいます。

企業債は順調に償還が進んでおり、残高は対前年度比104億円減の580億円と見込まれる一方で、今後は管路や浄水場の更新等、多額の費用が必要となる施設整備が見込まれており、財政運営は厳しさが増すものと想定しています。

項目	令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算(案)	対前年度	
			増減額等	増減率
年間供給水量	4.8億m <sup>3</sup>	5.2億m <sup>3</sup>	0.3億m <sup>3</sup>	6.4%
料金収入	425億円	431億円	5.7億円	1.3%
損益	49億円	23億円	△26億円	△52.8%
累積資金残高	97億円	54億円	△43億円	△44.3%
企業債残高	684億円	580億円	△104億円	△15.2%

### 4 予定供給水量

令和5年度の年間供給水量は、対前年度比6.4%増の5億1,527万余立方メートルを予定しており、うち直営事業は、対前年度比8.8%増の3億9,590万余立方メートルを予定しています。

予定供給水量内訳

(単位: m<sup>3</sup>)

区分		令和4年度(A)	令和5年度(B)	増減(B-A)	前年比
年間供給水量		484,201,000	515,279,700	31,078,700	6.4%
事業別	直営事業	364,028,700	395,907,100	31,878,400	8.8%
	寒川事業	120,172,300	119,372,600	△799,700	△0.7%
団体別	神奈川県	182,462,500	181,295,400	△1,167,100	△0.6%
	横浜市	189,070,000	220,698,000	31,628,000	16.7%
	川崎市	99,791,000	96,111,600	△3,679,400	△3.7%
	横須賀市	12,877,500	17,174,700	4,297,200	33.4%

## 5 予算規模と収支の状況

※ 丸囲数字は下表の丸囲数字と突合

○ 予算規模	661 億円	(対前年度当初予算比 29 億円 増加)	.....	①+③
○ 損益	23 億円	(対前年度当初予算比 26 億円 減少)	.....	②
○ 累積資金残高	54 億円	(対前年度当初予算比 43 億円 減少)	.....	④
○ 企業債残高	580 億円	(対前年度当初予算比 104 億円 減少)	.....	⑤

令和5年度予算・要素別内訳

(単位:百万円)

区 分		令和4年度 当初予算 (A)	令和5年度 当初予算(案) (B)	増減額 (B-A)	
収益的 収支	収益的収入	46,297	46,791	495	
	用水供給料金	42,523	43,091	568	
	その他	3,774	3,701	△ 73	
	収益的支出	40,651	43,684	3,033	①
	職員費	3,251	3,271	20	
	維持管理費等	18,996	22,840	3,844	
	減価償却費等	17,094	16,553	△ 541	
	支払利息等	1,311	1,020	△ 290	
	収益的収支差額	5,646	3,107	△ 2,538	
	損益	4,958	2,338	△ 2,620	②
資本的 収支	資本的収入	2,776	3,113	337	
	企業債	2,592	2,848	256	
	補助金	184	265	81	
	資本的支出	22,484	22,386	△ 99	③
	一般建設改良費	8,088	8,927	839	
	企業債償還金	14,385	13,251	△ 1,134	
	その他	12	208	196	
	資本的収支差額	△ 19,708	△ 19,273	435	
累積資金残高		9,733	5,421	△ 4,311	④
企業債残高		68,354	57,951	△ 10,403	⑤

※ 端数処理の関係から、合計額等が一致しない場合があります。

## 令和5年度予算における主な取組み

「かながわ広域水道ビジョン」に示す3つの取組みの方向性に基づき、実施計画に定める取組みを着実に実施します。

※（ ）内は前年度額

※㊦は新規事業

※㊧は国庫補助事業

### 1 最適な水道システムの実現に向けた施設整備と運用・管理の取組み 89億6,659万円(84億2,448万円)

より安全で効率的な水道システムの実現に向けた施設整備を進めるとともに、施設の健全性を保つための点検と計画的な修繕・更新を実施します。

#### ① 浄水場の増強と送水管等の整備

- 5事業者（企業団及び4構成団体水道事業者）で、将来浄水場を統廃合した場合に必要な施設整備等について協議を進めています。
- 令和5年度は、引き続き協議を進め、5事業者共通の施設整備計画を策定します。

#### ② 安定的かつ効率的な水運用と原水の確保 9億1,573万円

##### ア 堆砂対策 9億1,573万円

- ダムの貯水機能、堰の取水機能を維持するため、堆砂対策を継続します。

##### 【取組内容】

三保ダム及び宮ヶ瀬ダムの堆砂対策

飯泉取水堰及び相模大堰の堆砂対策

##### イ 上流水利権の有効活用

- より安定的な取水を行うとともに、環境負荷の低減や動力費の削減を図るため、5事業者の合意に基づき、川崎市が沼本地点に保有する既存水利権の一部について、企業団が有効活用します。

【二酸化炭素排出量削減の効果】△約2,300t-CO<sub>2</sub>

【電力使用量削減の効果】△約500万kWh、動力費△1.9億円

※第4四半期に実施した場合の試算値

##### 【取組内容】

㊦沼本ダム、津久井導水路等を活用した自然流下原水の利用

### ③ 効率的な点検と計画的な修繕・更新

77億2,563万円

#### ア 水処理施設等の修繕

23億円

- 施設の保全を図るため、各浄水場・取水管理事務所の電気・機械設備等について、計画的に修繕を行います。

##### 【取組内容】

西長沢浄水場排水処理脱水機の修繕

相模原浄水場第2ブロック急速ろ過池表面洗浄装置の修繕 他

#### イ 水処理施設等の更新・改良

49億7,982万円

- 施設の老朽化に適切に対応するため、計画的な施設更新・改良に取り組みます。
- また、事業の平準化を効率的に進めるため、施設管理システムのアセットマネジメント機能を拡張します。

##### 【取組内容】

飯泉ポンプ場速度制御装置の更新

社家ポンプ場綾瀬系導水ポンプ速度制御装置の更新

⑨施設管理システムの改良（補助金 556 万円） 他

#### ウ 管路の保全・更新

3億5,437万円

- 既設管路の更新に向け、代替ルートを検討・設計を進めます。

##### 【取組内容】

送水管路線（相模原一当麻間）の詳細設計

送水管路線（上鶴間一下鶴間間）の詳細設計 他

#### エ 浄水場の更新

9,144万円

- 浄水場の更新に向け、新たな浄水処理方式等の検討を行います。

##### 【取組内容】

西長沢浄水場の更新に向けた検討

### ④ 施設の維持管理性の向上

3億2,523万円

- 外部施設の遠隔監視等、維持管理業務の効率化等を目的とした施設改良に取り組みます。

##### 【取組内容】

小雀ポンプ場等への監視カメラの設置

飯泉ポンプ場泥水調整池の築造 他

## 2 自然災害や多様なリスクへの対応強化の取組み

23億7,806万円(20億8,349万円)

自然災害や事故に備えた対策を着実に進めるとともに、組織対応力の強化や関係者との連携強化を図ります。

### ① 自然災害に備えた対策

#### 事故等の多様なリスクへの対策

23億7,083万円

#### ア 地震対策

15億9,253万円

- 施設耐震化事業基本計画に掲げた令和5年度末での主要施設の耐震化率100%を目標に、耐震補強工事を引き続き実施します。

##### 【取組内容】

- ⑧西長沢調整池の耐震補強(補助金7,748万円)
- ⑧伊勢原調整池の耐震補強(補助金1億8,180万円) 他

#### イ 浸水対策

7,557万円

- 取水施設の浸水被害を防止するため、防水壁等の設計を進めます。

##### 【取組内容】

飯泉ポンプ場及び社家ポンプ場防水壁等の詳細設計

#### ウ 停電対策

7億273万円

- 停電時においても用水供給を継続できるよう、非常用発電機等の更新や発電機稼働時間の延長に向けた検討を進めます。

##### 【取組内容】

相模原ポンプ場導水ポンプ設備等の更新

- ⑧本庁舎等非常用発電設備更新及び燃料タンク増設の検討 他

### ② 非常時における組織対応力の強化

#### 応急復旧における協力体制の構築

723万円

- 大規模な地震の発生等を想定し、相互応援協定に基づく他水道事業体との合同訓練等を実施します。
- 新型コロナウイルス感染症や様々な災害・事故の発生リスクを踏まえ、既存の対策の見直し等に継続して取り組みます。

##### 【取組内容】

他水道事業体との訓練等の実施

新型コロナウイルス感染症への対応

### 3 経営基盤の強化の取組み

3億2,419万円(3億1,430万円)

長期的視点に立った財政運営と事業環境の変化に応じた事業運営に努めるとともに、事業推進に必要な人材の確保・育成と創造力・活力のある職場づくりを進めます。

#### ① 長期的な視点に立った財政運営

- 管路や浄水場の更新等の施設整備に向け、長期的視点に立った財政運営に努めます。

#### ② 事業環境の変化に応じた事業運営

1億9,725万円

##### ア 脱炭素化に向けた取組み

123万円

- 二酸化炭素排出量の削減等に継続的に取り組むための対策・検討を進めます。

##### 【取組内容】

上流水利権の有効活用（再掲）

⑨ 森林再生パートナー制度への参画 他

##### イ 官民連携の取組み

1億9,602万円

- 浄水場の運転維持管理業務の効率化を目的に受注者と共同して、スマート化やICT技術を活用した検討等を進めます。

##### 【取組内容】

伊勢原浄水場運転維持管理業務の委託及びスマート化の検討等

#### ③ 人材の確保・育成

1,550万円

- 水道施設の再構築をはじめ、実施計画に定める取組みを担う職員の育成に向け、職員の能力開発や技術継承を推進するための研修を実施します。

##### 【取組内容】

事業環境の変化を踏まえた職員研修の実施

#### ④ 創造力・活力のある職場づくり

1億1,144万円

##### D X推進に向けた取組み

- 業務効率の向上を図るため、ネットワーク環境の整備とともに、電子決裁・文書管理システムの導入等を進めます。

##### 【取組内容】

⑨ 事務系ネットワークPCの更新及び無線通信環境の整備

⑨ 電子決裁・文書管理システムの導入 他

※ 令和5年度予算における主な取組みを示したものであり、計数が一致しない場合があります。



## 参考 かながわ広域水道ビジョン・実施計画と予算の関係

かながわ広域水道ビジョンは、概ね30年後における企業団の「将来像」と、その実現に向けた「取組みの方向性」を示したものです。

また実施計画は、この「取組みの方向性」に基づいて10年後に到達すべき状態を目標として整理したうえで、5年間で取り組む具体的な施策と実施スケジュールを示したものです。

かながわ広域水道ビジョンに示す「将来像」の達成に向けて、実施計画に示す施策を着実に進めていくため、予算を精査し、費用を計上しています。

### <参考> かながわ広域水道ビジョンと予算の関係

#### 【概ね30年後の将来像】

企業団と構成団体水道事業者全体における最適な水道システムの実現に向けて、施設整備の推進と経営基盤の強化により、広域水道としての強みを最大限に発揮している

#### 「概ね30年後の将来像」実現に資する実施計画の着実な実施

##### I 最適な水道システムの実現に向けた施設整備と運用・管理

より安全で効率的な水道システムに向けた施設整備と運用

施設の健全性を保つための点検と計画的な修繕・更新

##### II 自然災害や多様なリスクへの対応強化

自然災害や事故に備えた対策

組織対応力の強化及び関係者との連携強化

##### III 経営基盤の強化

将来を見据えた財政・事業運営

財源確保

事業推進に必要な人材の確保・育成と職場づくり

予算の重点配分

：ビジョンにおける「取組みの方向性（3つの柱）」

：実施計画の実施施策



**お問合せ先**

神奈川県内広域水道企業団

財務課長	菱山	電話 045-363-2465(直通)	予算全般に関する事
職員課長	佐藤	電話 045-363-1829(直通)	組織・人員に関する事
企画調整課長	入江	電話 045-363-2542(直通)	ビジョン・実施計画に関する事
事業計画課長	小金	電話 045-363-2397(直通)	施設整備に関する事